

整理番号
180

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	中小企業制度資金利用促進事業				担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	商工振興係
施策項目	4	工業・企業誘致			計画期間	令和５年度 ～ 令和５年度
主な取組	1	企業経営の安定化の支援			事業区分	その他
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	2	中小企業制度資金利用促進事業	

目的と方針 【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。		
事業概要 【PLAN】	中小企業の経営・設備に必要な資金融資の円滑化を図るため、市内金融機関等に対して資金を預託します。		
対象 【PLAN】	市内商工業事業者	意図 【PLAN】	円滑な資金融資が行われることで市内企業の経営安定化・活性化を図る。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	市内金融機関等に資金を預託することで、円滑な資金融資に努めてもらう。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		165,600	165,600				
	一般財源	千円		0	0				
事業費合計		千円		165,600	165,600				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
貸付金総額	千円	実績値が目標値以上となること	目標値	165,600	165,600	165,600	165,600	165,600	
			実績値	165,600					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				持続可能な経営を支援するため資金融資は必要であるが、現在は県のコロナ融資資金やふくしま復興融資資金など使い勝手の良い制度がある。				
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				近隣市町村に比べ条件が良くないため、市制度融資の条件等の見直しを進めている。				
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				融資条件等を見直していることから、利用者が増加する可能性があり、規模は増加傾向となる。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		商工業振興対策事業に統合					

整理番号
181

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	地域経済活性化事業（市制度資金保証料補助）				担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	商工振興係
施策項目	4	工業・企業誘致			計画期間	令和５年度　～　令和５年度
主な取組	1	企業経営の安定化の支援			事業区分	補助
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	2	地域経済活性化事業（市制度資金保証料補助）	

目的と方針【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。		
事業概要【PLAN】	市内商工業の振興を目的に、中小企業者の資金供給を円滑に行うため、融資を受けた事業者に対し信用保証料を補助します。		
対象【PLAN】	市制度資金を利用する事業者	意図【PLAN】	市内企業の経営安定化・活性化が図られるよう融資を受けやすくなる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市制度資金を借りる事業者の信用保証料を補助することで、融資を借りやすくする。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		4,413	1,445				
	一般財源	千円		0	0				
	事業費合計	千円		4,413	1,445				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
信用保証料補助件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	2	4	6	8	10	
			実績値	5					
			達成率	100.0%					

(２) チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				融資にかかる信用保証料を補助することから、利用者にとってニーズが高く、社会的需要もある。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				保証料を補助することで資金供給が円滑になり、目標達成に向けた事業効果が期待できる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、今後市制度融資の条件が見直され利用者が増加していくと想定される。				

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		商工業振興対策事業に統合する。					

整理番号		182 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商工業振興対策事業（再掲）				担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	商工振興係			
施策項目	4	工業・企業誘致				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	地場産業の活性化の支援				事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	7	1	2	商工業振興対策事業					
目的と方針【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。									
事業概要【PLAN】	市内商工業の振興に向け伊達市商工政策審議会を開催し、市内商工業の振興・活性化を推進します。									
対象【PLAN】	市内商工業事業者				意図【PLAN】	市内商工業が活発な経済活動が行われること				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	市内経済団体の長などで組織した伊達市商工政策審議会において、市内商工業の振興・活性化を協議する。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0	4,440				
	地方債	千円		0	0	0				
	その他	千円		0	0	192,756				
	一般財源	千円		375	22,939	23,213				
事業費合計		千円		375	22,939	220,409				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
商工政策審議会開催数		回	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2	
				実績値	2					
				達成率	100.0%					
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				市内商工業全体の振興を図るために必要な組織であり、社会情勢や市内商工業の状況により対策を講じていく必要があることから、優先度は高い。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				市内商工業の振興を図るため、商工業振興計画の策定や、商店街の活性化策の提案など目標達成に向けた事業効果は高く、社会貢献度も高い。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				協議内容によっては会議を文書会議にするなど、時間や費用を抑える工夫を行った。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		令和5年度は市長からの諮問に対し、商店街の活性化策を答申することができた。次年度は商工業振興計画の改定の準備期間となることから、市と連携し意見交換しながら事前調査を行っていく必要がある。						

整理番号
183

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	ふるさと納税事務（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	物産振興係			
施策項目	4	工業・企業誘致					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	2	地場産業の活性化の支援					事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	2	1	1	一般管理費						
目的と方針【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。										
事業概要【PLAN】	ふるさと納税（寄附）を通して伊達市の特産品、名産品等返礼品の登録事業者を増やし、魅力ある返礼品の充実を図ります。										
対象【PLAN】	ふるさと納税返礼品事業者				意図【PLAN】		伊達市のふるさと納税返礼品が充実し、全国の方々が伊達市の魅力を知ることができる。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	事業者説明会や事業者の募集、参画交渉を行うことで、伊達市の特産品、名産品をふるさと納税返礼品として登録する事業者を増やす。また、さまざまな媒体でPRを行い、伊達市の魅力を発信する。										
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度		
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0					
	都道府県支出金	千円		0	0	0					
	地方債	千円		0	0	0					
	その他	千円		0	0	0					
	一般財源	千円		242,674	265,360	281,064					
	事業費合計	千円		242,674	265,360	281,064					
（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
返礼品登録事業者数		社	実績値が目標値以上となること	目標値	76	82	88	94	100		
				実績値	90						
				達成率	100.0%						
（２）チェック項目による評価【CHECK】											
	評価視点				評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				ふるさと納税返礼品事業者を増やすことで、ふるさと納税の寄付額を増やし、持続可能な商業地づくりにつながるため優先度は高い。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				伊達市ふるさと納税返礼品を充実させるために、ふるさと納税返礼品事業者を増やすための事業者説明会や募集、参画交渉は有効だと考えている。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				今まで紙で受付していたワンストップサービスのオンライン化を図り、費用を抑えながら作業時間の削減に努めた。						
（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		・目標値を上回る事業者数を登録することができた。 ・年々参加できる事業所を見つけていくことは困難になっていくため、個別に参画交渉を行うなど効率性に課題が残る。							

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	商店街活性化事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係			
施策項目	4	工業・企業誘致					計画期間	令和5年度　～　令和5年度			
主な取組	2	地場産業の活性化の支援					事業区分	補助			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	2	商工業振興対策事業						

目的と方針 【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。
-------------------------	---

事業概要 【PLAN】	市内の優れた地場産業を育成・維持するため市内団体の支援を行います。
----------------	-----------------------------------

対象 【PLAN】	地場産業団体	意図 【PLAN】	各事業者の経営の安定化・活性化を図ることで、持続可能な地場産業を目指す。
--------------	--------	--------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	地場産業団体へ補助金を交付することで、広域的な活動を支援する。
----------------------	---------------------------------

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0				
	都道府県支出金	千円	2,000	1,040				
	地方債	千円	0	0				
	その他	千円	3,569	5,176				
	一般財源	千円	7,363	0				
	事業費合計	千円	12,932	6,216				

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
地場産業系団体への支援数	件	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	1					
			達成率	50.0%					

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	真綿協会については、高齢化等により会員が減少しているが伝承産業であり団体育成の支援が必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	団体への支援を行うことで目標達成に向けた事業効果が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	事務については補助金の交付事務のため、削減の余地はないと考える。 補助額については、各団体との協議により精査していく。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	商工業振興対策事業へ統合する。
------------	----	-------------------------	-----------------

整理番号					部 長		課 長		係 長		担当者							
185					事務事業評価表 令和５年度実施事業													
事業名		企業誘致推進事業							担当課		商工観光課							
基本目標		4		活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係		商工振興係							
施策項目		4		工業・企業誘致					計画期間		令和５年度 ～ 令和７年度							
主な取組		3		企業誘致の推進					事業区分		一部委託							
予算科目		会計		款		項		目		大事業								
		1		7		1		2		企業誘致推進事業								
目的と方針【PLAN】		地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。																
事業概要【PLAN】		伊達市の立地環境を広くPRし、企業の伊達市への立地を誘導します。																
対象【PLAN】		立地企業等					意図【PLAN】		企業の立地、雇用の増加から、伊達市の製造品出荷額が増え、経済が活性化すること。									
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		工業団地への企業立地が進み、進出企業や既存企業の投資等が増える状態。																
事業費【D0】		年度				04年度		05年度		06年度		07年度		08年度		09年度		
		単位				(実績)		(実績)		(予算)		(予算)		(予算)		(予算)		
財 源 内 訳	国庫支出金		千円				0		0		0							
	都道府県支出金		千円				100,000		0		0							
	地方債		千円				145,500		0		0							
	その他		千円				272,710		49,877		258,248							
	一般財源		千円				7,655		7,141		2,364							
事業費合計		千円				525,865		57,018		260,612								
(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】																		
指標名		単位		達成条件		区分		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度		
セミナー、展示会等でのPR回数		回		実績値が目標値以上となること		目標値		4		4		5		5		6		
						実績値		3										
						達成率		75.0%										
(２)チェック項目による評価【CHECK】																		
		評価視点							評価の結果									
必要性		・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか							市の経済活性化および市民の雇用創出の場を確保するため、市民ニーズおよび社会的需要は高いと推察される。									
有効性		・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか							市主催のセミナーや展示会の情報交換から新工業団地の企業誘致に繋がったことから、有効だと考える。									
効率性		・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか							地域雇用創出・産業活性化基金繰入金を主な特例財源とし、一般財源の使用を抑えている。									
(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】																		
今後の方向性		終了・完了		事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など				セミナーの開催、展示会への出展を通して、新工業団地の区画が完売となり目的は達成されたと考える。 なお、新工業団地の拡張等の際に本事業について新たな手法を考案していく。										

整理番号
186

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	工業団地維持管理事業					担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	商工振興係
施策項目	4	工業・企業誘致					計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	3	企業誘致の推進					事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	8	4	3	工業団地維持管理事業			

目的と方針 【PLAN】	地域経済の発展と雇用の創出に向け、既存企業の経営の安定化・活性化を支援するとともに、新たな企業の誘致を進めます。		
事業概要 【PLAN】	工業団地を適切に管理し、立地企業の操業環境を維持します。		
対象 【PLAN】	市内工業団地	意図 【PLAN】	立地企業の安定的な操業環境を維持すること。
意図の実現のために必要なこと 【PLAN】	工業団地内の調整池など立地企業の操業環境の維持に必要と考えられる施設の除草等を適切に実施する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	57			
	一般財源	千円		2,560	6,917	4,918			
	事業費合計	千円		2,560	6,917	4,975			

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
工業団地の除草箇所数	箇所	実績値が目標値以上となること	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	8				
			達成率	100.0%				

(２)チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	立地企業の操業環境を維持するため、社会的需要および事務事業の優先度は高いものとする。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	工業団地内の調整池の除草や水路等の除草を実施することで、立地企業の操業環境の維持が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	費用を削減するため、委託回数を抑え、１度に広範囲の除草作業を委託している。

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	本事業は目標値を上回って達成することができた。なお、市内工業団地の維持管理は継続して行う必要がある。